

平成30年度学校自己評価結果

自己評価項目		評価値	学校自己評価	
教育理念・目標	1	・学校の理念・目的・育成人材は定められているか	3.2	学則および年度ごとの教育計画などに定められているが、時代の変化に対応することが必要。
	2	・社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	2.6	企業からのニーズを把握が不十分であり、時代を先取りした将来構想が必要。
	3	・学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2.8	学生に対しては、学則及び入学時のガイダンスなどで、学校の目的、教育人材像などをより明確に示す努力をしているが、不十分であり、保護者に対しては、入学式の保護者への説明のほか、年1回の保護者説明会を開催し、学校状況、学生の状況、学校の取組について説明会を実施しているが、すべての保護者に周知する必要がある。
	4	・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けされているか	2.9	社会、企業ニーズの把握が不十分である。
学校運営	6	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	2.6	学校の目的に沿って教育目標、教育方針が立てて実施しているが、不十分である。
	7	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2.9	毎年運営方針に基づき事業計画を策定し、重点事業方針を決定している
	8	・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	2.5	毎年学校運営組織が見直しされ、公表された組織体制に基づき、運営されているが、規則化についてまだ不十分な点が多い。
	9	・人事・給与に関する規定等は整備されているか	3.1	運営母体である商工会議所の規定により整備されている。
	10	・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2.5	変化の多い中、年度ごとの組織整備を行っているのが現状。学校内部の意思決定システム詳細が不十分な点がある。
	11	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2.9	教職員に対して毎年コンプライアンス研修をおこなうなど、コンプライアンスに関する体制を整えている
	12	・教育活動等に関する情報公開が適切に行われているか	2.3	学校のホームページやSNSを利用し、情報公開を進めているところであるが、情報公開についてのシステムが不十分である。
13	・情報システム化等による業務効率化が図られているか	2.9	学校管理システムを構築し、学生基本情報、成績、学費、就職情報まで管理をしている	
教育活動	14	・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	2.9	毎年教育理念に沿った教育課程および教育計画を立て、実施しているが、時代の変化をとらえた部分に十分対応できていない。
	15	・教育理念、育成人材像の業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2.6	各学科の教育計画の中で明確に開示しているが、もっと詳細に至る検討が必要。
	16	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.1	各学科の教育目標に基づき、教育計画を編成している。
	17	・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか	2.9	教育計画に基づいた実践教育を行うために、定期的に教員研修会を開催し、教員の資質向上に努力している。
	18	・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.4	職業教育の一環として全学科インターンシップを導入し、実践的な職業教育を実施しているとともに、フィールドワーク等を実践し、現在の社会の動き等を学ばせている。また、企業トップからの業界の動き等を学ぶ、企業講話なども導入している
	19	・授業評価の実施、評価体制はあるか	3.3	各学期終了時に、学生による授業理解度アンケートを実施し、結果を教職員へフィードバックすることにより、授業研究等に役立っている。
	20	・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.9	学校の教育内容、教育環境などを含め、2018年度から外部検討委員会を設置検討を開始している。また、検討する学校関係者評価も2020年度から実施する。
	21	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.6	学則及び内規により明確にしている。
	22	・資格所得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.1	授業計画の中で、指導期間を含め、資格試験受験スケジュールを構築し、実践している。
	23	・人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	2.5	知識、技術を持ち備えた教職員、実践的な経験のある教職員を配置し、指導しているが、教員数は不足しているため、改善が必要。
	24	・関連分野における業界等との連携においてすぐれた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	2.5	税理士、社会保険労務士など実務で活躍する教員を確保し、授業を実践しているが、不十分な面がある。
25	・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質の向上のための取り組みがおこなわれているか	2.6	定期的に学内教職員研修の開催。外部の関連分野の研修への参加など、積極的にとりいれているが、もっと充実を図っていかなくてはならない。	
26	・職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.5	内部研修、外部研修等を実施しているが、不十分であり、さらなる充実が必要。	
学修成果	27	・就職率の向上が図られているか	3.7	担任による個別指導、就職推進室による指導等により、学生個人に合わせた就職指導を実施している
	28	・資格取得率の向上が図られているか	2.9	検定合格に向けての放課後講習指導の実践のほか、上位資格を目指すための講習などを実施。資格取得まで再チャレンジさせる指導体制をとっている
	29	・退学率の低減が図られているか	3.1	欠席増加者に対しては、担任指導の他、教務部での指導、最終的には保護者を含めた指導をし、本人の将来を考えての指導体制をとっている。
	30	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.6	卒業生の就職先での状況把握を定期的実施している。現状評価までは口頭の聞き取りのみとなっている。
	31	・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.4	現在実践できていない。
学生支援	32	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.7	担任制を採用し、担任指導、就職推進室による個別指導などを行っている。
	33	・学生相談に関する体制は整備されているか	3.2	担任との相談などの実施の他、心の悩み等については週1回のカウンセリング時間を設けて、学生の相談を受け付ける体制をとっている。
	34	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.0	学校独自のものとしては、学校同窓会協力の下、返還不要の奨学金制度を設けている。また、公的な奨学金等の紹介、管理をしている

	35	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.6	定期的健康診断の他、インフルエンザ他の予防等について学生にその都度指導しているが、日々の健康管理までの指導はできていない。
	36	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.1	部活動を認め、学校から大会参加等の補助金提供などもしている
	37	・学生の生活環境への支援は行われているか	2.5	住居などの相談、紹介、アルバイト紹介等も実施していく予定であるが、現在十分に対応できていない。
	38	・保護者と適切に連携しているか	2.9	保護者説明会の実施、学生の状況等を保護者と電話連絡により学生の状況把握を行っている。
	39	・卒業生への支援体制はあるか	2.8	卒業生の退職者などの再度の就職先あっせん等を実施している。
	40	・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.6	企業ニーズを受けながら、教育計画等に反映させる部分が不十分である。
	41	・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	2.6	高等学校からの出前授業などを積極的に受け入れ、校外外において実施しているが、数的には多くない状況である。
教育環境	42	・施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3.3	教育に必要な教育器具、環境を現在整備中であり、今後も改善を図っていく。
	43	・学内外の実習施設、インターンシップ、研修旅行等について十分な教育体制を整備しているか	3.5	全学生に対してインターンシップを実施している他、実社会を知るための研修旅行の実施をしている。さらに会議所のセミナーへ参加させる。
	44	・防災に対する体制は整備されているか	2.4	避難訓練の実施。その他今後防災に係る内容の指導は不十分な面が多い。今後、充実させていくための検討していく予定である。
学生募集	45	・学生募集活動は、適正に行われているか	3.0	学生の募集は適宜見直しされた募集要項に記載したものに則り実施している。
	46	・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.0	学校でのオープンキャンパス、学外の相談会等について、パンフレット等を使用して公開している。
	47	・学納金は妥当なものとなっているか	3.7	同分野の他校に比較して、学生負担を下げるために安い設定としている。
財務	48	・中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	2.4	近年の高校生数の減少により、入学生も減少し、厳しい状況になっている
	49	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.7	運営母体である商工会議所での予算収支は妥当なものとする。
	50	・財務について会計監査が適正におこなわれているか	3.4	運営母体の商工会議所にて会計監査が実施されている
	51	・財務情報公開の体制整備はできているか	1.5	現状公開していないが、今年度から公開予定である。
法令の遵守	52	・法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	3.5	設置基準を遵守し、適正に運営している。
	53	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2.9	学生の個人情報等は情報管理責任者のもと、管理していると共に、学校管理システムから容易にデータの持ち出しが出来ないようにシステム化している。
	54	・自己評価の実施と問題点の改善を行なっているか	2.2	今年度より実施。自己点検項目の検討等を毎年見直ししながら実施していく。
	55	・自己評価結果を公開しているか	2.1	今年度より公開することとする。
社会貢献他	56	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.7	地域に貢献するため、教室、スポーツ団体への体育館など校舎の利用等を推奨している。
	57	・学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3.5	地域のボランティア活動に積極的に参加している。
	58	・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3.7	学校教育の他、近隣住民を対象としたイベント等を企画し、実施している。